

令7 中学校・高等学校家庭 (6枚のうち1)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

I 食生活について、次の問いに答えなさい。

1 食育に関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

兵庫県では、食育に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として、令和4(2022)年度から令和8(2026)年度までの5年間の計画期間とする「食育推進計画(第4次)」を策定し、「食で育む 元気なひょうご」の実現をめざしている。これまでの3次にわたる計画の推進により、食育の実践と連携は着実に進展してきた。一方で、子どもや若い世代における朝食摂取率や、地域の行事食・【 】料理を知ってつくりすることができる人は、計画策定時と比較して横ばいであることに加え、**a**食塩の過剰摂取や野菜の摂取不足など食生活に起因する生活習慣病等の増加、**b**若い女性の過度の痩身や高齢者の低栄養等への対応など、食に関する健康問題は依然として多く残っている。
※兵庫県 食育推進計画(第4次) 令和4年3月より抜粋

- (1) 文中の【 】に入る、各地の産物を活用し風土に合った食べ物としてつくられ、歴史や文化あるいは食生活とともに受け継がれている伝統料理のことを何というか書きなさい。
- (2) 下線部 **a** について、「日本人の食事摂取基準(2020年版)」で示されている食塩の1日の目標量(15歳以上)として適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。
- ア 男性7.5g未満 女性7.5g未満 イ 男性7.5g未満 女性6.5g未満 ウ 男性6.5g未満 女性6.5g未満
エ 男性6.5g未満 女性5.5g未満 オ 男性5.5g未満 女性5.5g未満
- (3) 下線部 **b** について、「日本人の食事摂取基準(2020年版)」では、18～49歳の目標とするBMIの範囲は、18.5～24.9となっている。このBMIの計算式を、単位も含めて書きなさい。

2 食品に関する次の文章について、文中の(①)～(④)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

バナナなどの果実に含まれる(①)類は空気ふれると酸化酵素の働きによって茶色に変化する。この変化を褐変という。また、りんご、ももなどに含まれる(②)は、酸と糖を加えると(③)化し、ジャムをつくりすることができる。さらに、キウイフルーツ、メロン、いちじく、パイナップルなどに含まれる、(④)を分解する酵素は、肉をやわらかくしたり、消化を助けたりする働きをもつ。

3 調理に関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

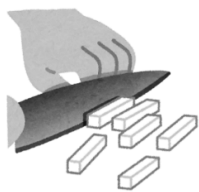
調理によって食品成分はさまざまに変化する。色、味、香り、組織・構造などを変化させることによって、食品は一般的においしくなり、消化されやすくなる。加熱操作には、**c**焼く、**d**煮る・ゆでる、蒸す、炒める、揚げる、**e**電子レンジによる調理などがある。非加熱操作には、はかる、洗う、**f**切る、ひたす、混ぜる、すりつぶす、こす、冷やす、解凍、生食調理などがある。

- (1) 下線部 **c** について、肉やパンなどは焼くことで食品の風味を向上させている。加熱することにより食品に含まれているアミノ酸と糖とが結びついて、褐色物質や香り成分をつくる反応を何というか書きなさい。
- (2) 下線部 **d** について、煮しめ、煮つけなどを調理する場合に使用する落しぶたの効用を、2つ書きなさい。
- (3) 下線部 **e** について、電子レンジによる調理を説明した次の文中の(①)、(②)に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

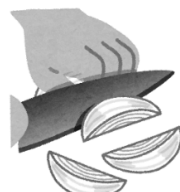
(①)が食品の(②)を激しく振動させることで発熱し、内部から加熱される。形崩れ・栄養の損失が少なく、加熱時間が非常に短い。

(4) 下線部 **f** について、次の図A、図Bの切り方の名称を、それぞれ書きなさい。

図A



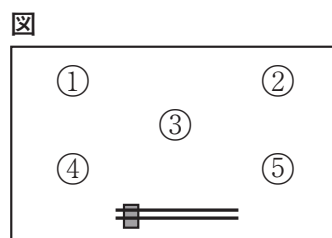
図B



4 食文化に関する次の問いに答えなさい。

(1) 右の図は、主食をごはん、汁物をわかめの味噌汁、主菜を鮭の塩焼き、副菜を野菜の煮物、副々菜をきゅうりの酢の物とした場合の配膳図である。配膳の組合せとして適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。

- ア ①主菜 ②副菜 ③副々菜 ④汁 ⑤飯
イ ①主菜 ②副菜 ③副々菜 ④飯 ⑤汁
ウ ①副菜 ②主菜 ③副々菜 ④汁 ⑤飯
エ ①副菜 ②主菜 ③副々菜 ④飯 ⑤汁
オ ①副菜 ②副々菜 ③主菜 ④汁 ⑤飯



(2) 茶席で茶をふるまう前に出され、安土桃山時代、千利休により確立された簡素な料理を何というか、解答欄に合わせて漢字2字で書きなさい。

令7 中学校・高等学校家庭 (6枚のうち2)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

II 高齢者福祉について、次の問いに答えなさい。

1 認知症に関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

高齢期に特徴的な疾病の1つとして、認知症が知られている。認知症とは、一度正常に発達した脳が何らかの疾病によって変化を起こし、(①) が低下したために、日常生活や社会生活に支障をきたすような状態のことをいう。

認知症の症状は、脳の細胞が壊れて直接起こる (②) 症状と、環境や人間関係などによって起こる行動・心理症状に分けられる。近年では予防や治療の研究が進み、早期に発見し、早期に治療を行うことで、症状の進行を抑えることができるようになってきた。

都道府県、市区町村などが、認知症サポーター養成講座を開講し、認知症に関する正しい知識と理解をもつ人の育成に取り組んできた。講座を終了すると (③) (プレスレット) や認知症サポーターカードが渡される。認知症サポーターは、認知症の人と家族、地域住民や介護や福祉の専門家などが交流し、情報を共有できる場として認知症カフェの開催や運営を手伝ったり、自治体と協働して、声かけや見守り、ゴミ出し支援などを行ったりしている。

- (1) 文中の (①) ~ (③) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。
- (2) 場所や時間、人物などを認識できなくなる障害を何というか、漢字5字で書きなさい。

2 高齢者福祉の制度とサービスについて述べた文として適切なものを、次のア~カからすべて選んで、その符号を書きなさい。

- ア 社会全体で高齢者の介護を担っていく(介護の社会化)のために、介護福祉制度は、平成12(2000)年に導入された。
- イ 介護保険サービスを受けるには、地域包括支援センターに申請し、要介護認定を受ける必要がある。
- ウ 日本は、国民皆年金であり、それぞれ個人が自分の老後の生活を支えることが特徴である。
- エ 公的年金には、20歳以上60歳未満のすべての人が加入する国民年金と、サラリーマンなどが加入する厚生年金がある。
- オ 健康な状態から要介護へ移行する中間段階のことをサルコペニアといい、年齢を重ねたことで生じる衰え全般をさす。
- カ 介護保険への加入、拠出は40歳から始まり、40~64歳の人でも初期認知症など特定疾病と認められれば、介護サービスを受けることができる。

3 高齢者の心身の変化に関する次の問いに答えなさい。

- (1) 加齢により眼の水晶体が濁り視野がぼやけ、かすんで見える眼の疾病のことを何というか書きなさい。
- (2) 老人性難聴の特徴について説明しなさい。
- (3) 骨、関節や筋肉など運動器の機能が低下する状態を何というか書きなさい。

III 子どもの生活と保育について、次の問いに答えなさい。

1 乳幼児との触れ合い体験に関する次の問いに答えなさい。

- (1) 体験先は保育所である。国の所管、保育者の資格要件を、それぞれ書きなさい。
- (2) 生徒は、乳幼児との触れ合い体験の前に、乳幼児の発達について学習した。次のア~エを解答欄に合わせて発達の順に並び替えて、その符号を書きなさい。

ア はいはいをする イ 一人で歩く ウ 縄跳びを跳ぶ エ 三輪車をこぐ

- (3) 園庭で花に水やりをしている幼児が、「お花がゴクン、ゴクン、おいしいってお水を飲んでいるよ。」と話した。このような、幼児のものの捉え方の特徴を何というか書きなさい。
- (4) 保育所等でよく用いられる、紙に書いた人形のイラストに、割り箸などの棒をつけたウチワ型紙人形劇を何というか書きなさい。

2 スキンシップを介して、子どもと養育者との間に愛情や信頼感などのきずなが形成されることを何というか、カタカナで書きなさい。

3 元気だった乳幼児が、何の予兆もないまま、突然に死に至る原因不明の疾病を何というか書きなさい。また、この発症を防ぐため、厚生労働省は乳幼児をどのように寝かせることを推奨しているか、解答欄に合わせて書きなさい。

4 次の文章は、「児童憲章」の前文である。文中の () に入る適切な表現を書きなさい。

- ・児童は、人として尊ばれる。
- ・児童は、社会の一員として重んぜられる。
- ・児童は、()。

令7 中学校・高等学校家庭 (6枚のうち3)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

5 子どもの発達に関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

血液の循環の仕組みは、誕生前と後で大きく変わる。胎児期は、(①) が機能していないため、胎盤から取り入れた酸素を全身に送っている。誕生後は、卵円孔や動脈管が閉じ、胎盤はなくなる。そして (①) による酸素の取り込みが行われるようになる。年齢が低いほど脈拍数は多く、血圧は (②)。

新生児の皮膚は薄く、血液が皮膚を通して透けて見えるため、赤みを帯びた肌をしている。しかし、(①) 呼吸により酸素が十分取り込めるようになると、不必要になった (③) が壊れ、黄色い色素 (④) となり排出される。a 生後2～3日経つと、血液中の (④) 値が上がって皮膚が黄色みを帯びるが、生後1週間程度で薄くなっていく。

b 乳幼児は体重に占める水分の割合が大きい。特に乳児は、尿・便・汗に加え (⑤) も多く、出ていく水分の割合も大きい。そのため脱水症状になりやすい。

- 文中の (①) ～ (⑤) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。
- 下線部 a のことを何というか書きなさい。
- 下線部 b について、その割合として適切なものを、次のア～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。
ア 約25～30% イ 約35～40% ウ 約45～50% エ 約55～60% オ 約65～70%

IV 家族・家庭生活について、次の問いに答えなさい。

1 労働に関する次の文章について、文中の (①) ～ (③) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。なお、(③) はアルファベット3字とする。

家庭の機能を維持するには労働が必要である。(①) 労働は有償労働とも言われ、生活の収入を得ることができる仕事である。一方、(②) 労働は無償労働とも言われ、報酬を伴わない仕事である。いずれも生活を営む上で欠かせない重要な仕事である。個人の生きがいや精神的な豊かさを重視し、(③) (生活の質) を高められるような仕事の仕方を考えていくことがこれからの課題である。

(①) には、正規雇用と非正規雇用がある。

2 次の文中の (A) ～ (C) に入る理由として適切なものを、あとの表中のA～カからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。

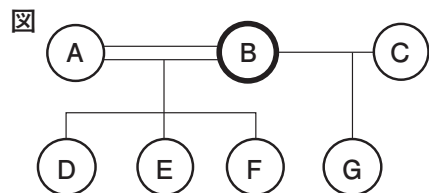
「非正規雇用についての理由」では、25歳以上の年齢において (A)、(B) の割合は男性より女性の方が高いことがわかる。また、45～54歳男性と55～64歳男性では (C) の割合が最も高く、35～44歳男性においてもAに次いで、2番目に多い理由になっていることが読み取れる。

符号	理由	15～24歳		25～34歳		35～44歳		45～54歳		55～64歳		65歳以上	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
ア	自分の都合のよい時間に働きたいから	52.1	54.3	26.7	31.8	29.1	28.3	23.0	29.5	18.1	33.3	32.0	41.8
イ	家計の補助・学費等を得たいから	22.3	19.6	9.3	11.5	3.6	20.9	3.3	27.9	10.2	24.1	14.9	20.1
ウ	家事・育児・介護等と両立しやすいから	-	1.4	1.3	21.6	1.8	27.9	3.3	17.2	1.6	11.2	1.0	6.9
エ	通勤時間が短いから	5.0	4.3	4.0	4.1	5.5	3.9	4.9	4.4	3.9	5.1	4.6	6.3
オ	専門的な技能等をいかせるから	3.3	2.9	9.3	5.4	7.3	4.7	9.8	5.2	18.1	8.2	18.6	9.0
カ	正規の職員・従業員の仕事がないから	5.0	5.1	24.0	11.5	27.3	7.4	31.1	8.5	19.7	8.5	9.8	4.2

総務省統計局「年齢階級、現職の雇用形態についての主な理由別非正規の職員・従業員数 2022年」より作成

3 相続について、次の問いに答えなさい。

- 法定相続分について定めた法律の名称を書きなさい。
- 次の図について、被相続人がBの場合、C、F、Gの法定相続分の割合の組合せとして適切なものを、右のA～オから1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、二重線は婚姻関係を示すものとする。



D: 婚内子	ア C 1/2	F 1/6	G 0
E: 婚内子	イ C 1/8	F 1/8	G 0
F: 婚内子(養子)	ウ C 0	F 1/6	G 0
G: 婚外子	エ C 0	F 1/8	G 1/8
	オ C 0	F 0	G 1/6

4 次の(1)～(5)の下線部について、正しいものには○を、誤っているものには正しい語句を、それぞれ書きなさい。

- 人の一生を成長・発達の節目ごとに区分した段階のことをライフイベントという。
- 個人や家族の暮らし方の実態を把握するために、総務省が5年に1回世帯調査を実施している。
- 平成30(2018)年の民法改正で、女性の婚姻最低年齢は18歳となった。
- 夫婦の話し合いによる合意で離婚届を提出すれば調停離婚が成立する。
- 民法第877条1項では、直系血族および兄弟姉妹は互いに扶養をする義務があるとしている。

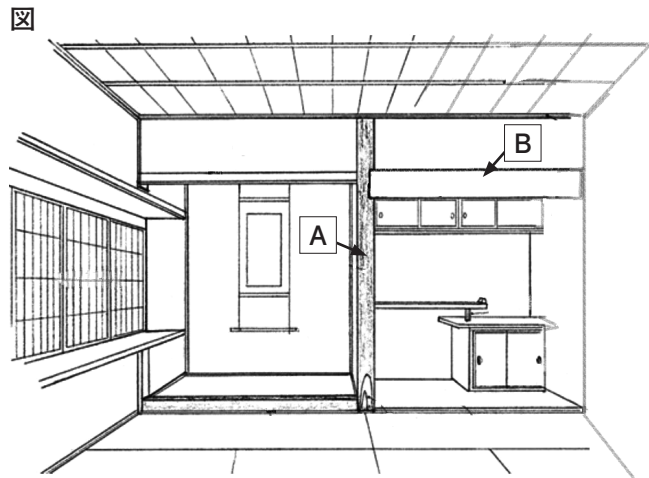
令7 中学校・高等学校家庭 (6枚のうち4)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

V 住生活について、次の問いに答えなさい。

1 住まいの変遷に関する次の文中の (①) ~ (⑥) に入る適切な語句を、あとのア~コからそれぞれ1つ選んで、その符号を書きなさい。ただし、同じ記号には同じ符号が入る。

私たちの住まいは、長い歴史の中で、各時代の社会や文化、そこでの生活などの影響を受けて変化・発展してきた。古代の貴族の住まい「(①) 造」では開口部に御簾を吊り下げ、広い一室空間を可動式のついでや (②) で仕切っており、空間の転用性が高かった。中世の武士の住まい「(③) 造」では引き戸の建具が用いられて部屋ができ、床には (④) を敷き詰めた。右の図は、「(③) 造」を受け継ぐ和室である。図中のAは (⑤)、Bは (⑥) という。



- ア 書院 イ 寝殿 ウ 畳 エ 長押 オ 屏風
- カ 鴨居 キ 床柱 ク 襖 ケ 敷居 コ 欄間

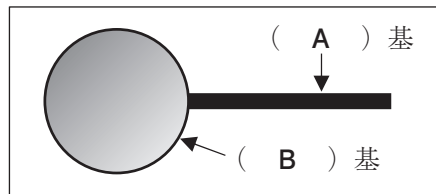
2 気候風土や暮らし方と住まいについて述べた次の文中の (①) ~ (④) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

日本においては、岐阜県白川郷のかやぶきの急こう配の屋根をもつ伝統的な住まいがある。その特徴から (①) 造りと呼ばれている。沖縄県の伝統的な住まいは、(②) の被害から住まいを守るため、低い屋根と石垣をもつ。同じく世界においては、インドネシアにトンコナンと呼ばれる舟形屋根の住まいがある。ほかにも高温多湿の東南アジアでは通風のよい (③) 式住居が見られる。移動に合わせて組み立てることができる遊牧民の住まいは、モンゴルでは (④) と呼ばれている。

VI 衣生活について、次の問いに答えなさい。

被服の管理に関する次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

図 界面活性剤の構造



- ① 界面活性剤は (A) 基と (B) 基からなり、水の表面張力を低下させ、界面活性剤の (C) 基は汚れの表面に吸着し、汚れと洗濯物の中に入りこみ、繊維をぬらす。
- ② 界面活性剤が汚れと繊維の間に入り込み、汚れを包みこんで水中にとりだす。
- ③ 界面活性剤が水と固体の境目や水と油の境目といったものの境界面に吸着して働きかけ、水と油の普通では混ざり合わないものを混ぜ合わせることができる。
- ④ 界面活性剤が再び汚れが洗濯物につくことを防ぐ。

- 1 文中の (A) ~ (C) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。なお、同じ語句を複数回書いてよい。
- 2 ④の働きは何という作用か書きなさい。
- 3 次の表は、漂白剤の働きについてまとめたものである。表中の (ア) ~ (オ) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。

表

	種類	主成分	液性	特徴
酸化型漂白剤	塩素系	(ア)	アルカリ性	漂白力は強い。 綿・レーヨン・ポリエステルには使える。 (ウ)・(エ)・ナイロン・ポリウレタンには使えない。 (オ) 性タイプの製品と混ぜると塩素ガスが発生し危険。
	酸素系	過酸化水素水	弱酸性	すべての繊維に使える。 色物・柄物にも使える。
		過炭酸ナトリウム	(イ) 性	色物・柄物にも使える。 (ウ)・(エ) には使えない。

令7 中学校・高等学校家庭 (6枚のうち5)

(解答はすべて、解答用紙に記入すること)

Ⅶ 消費経済について、次の問いに答えなさい。

次の資料は、単元「自立した消費者となるために」の単元の目標と評価規準を示したものである。あとの問いに答えなさい。

資料

単元名 自立した消費者となるために		
1 【単元の目標】		
(1) 消費生活の現状と課題、消費行動における (A) の重要性、生活情報の収集・整理が適切にできる。		
(2) 消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう、消費者問題や自立と支援などについて理解するとともに、契約の重要性や消費者保護の仕組みについて理解できる。		
(3) 自立した消費者として生活情報を活用し、適切な (A) に基づいて行動することができるよう考察し、責任ある消費について工夫できる。		
2 【単元の評価規準】		
知識・技能	思考・判断・表現	(B)
消費者の権利と責任を自覚して行動できるよう消費生活の現状と課題、消費行動における (A) や契約の重要性、消費者保護の仕組みについて理解するとともに、生活情報を適切に収集・整理している。	生涯を見通した生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として、生活情報を活用し、適切な (A) に基づいて行動することや責任ある消費について問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなどして課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、生活における経済の管理や計画の重要性、自立した消費者として生活情報を活用し、適切な (A) に基づいて行動することについて、課題の解決に主体的に取り組んだり、振り返って改善したりして、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図るために実践しようとしている。
3 【単元を貫く課題】 健康・快適・安全かつ持続可能な自立した消費生活を営むためには何がどのようにできるよければよいのだろうか。		
4 【指導計画】		
時間数	学習内容	ねらい
1	大人として自立した消費者とは	消費生活について問題を見だし、課題を設定することができる。
2	契約で成り立つ消費生活	消費行動における (A) や契約の重要性について理解できる。
3	契約を解除できる条件	消費者保護の仕組みを理解することができる。
4・5	家計とその特徴、家計管理	家計の構造、家計管理について理解し、ライフステージと関連付けた経済計画を立てることができる。
6・7	多様な支払い方法に応じた計画的な金銭管理	キャッシュレス決済の特徴やクレジットカードの仕組みなど多様な契約について理解し、計画性のある使い方・合理的な使い方を考えることができる。
8・9	若年者によくある消費者被害	消費者トラブルの問題解決に取り組み、自立した消費者として社会への影響を意識した責任ある消費行動を考えることができる。
10	消費者としての責任ある消費行動	自立した消費者として適切な (A) に基づいて行動することや責任ある消費について考え、工夫することができる。
5 【観点別学習評価の総括】		
単元・学期末・学年末における観点別評価の総括		

- 資料中の (A)、(B) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。ただし、同じ記号には同じ語句が入る。
- 資料中の評価規準に「家計の構造や生活における経済と社会の関わり、家計管理について理解している。」を追加したい。この評価規準は「知識・技能」、「思考・判断・表現」のどちらの観点に追加することが適切か書きなさい。
- 資料中の指導計画は、題材を計画的に配列している。家庭科、技術・家庭科家庭分野で育成することをめざす資質・能力について述べた次の文中の (C) ～ (F) に入る適切な語句を、それぞれ漢字2字で書きなさい。

(C) の中の様々な (D) の中から (E) を設定し、その解決を目指して解決方法を検討し、計画を立てて、実践するとともに、その結果を評価・(F) するという活動の中で育成できると考えられる。

- 消費者トラブルの問題解決に関する次の問いに答えなさい。
 - 注文していない本がXさんのもとに送られてきた。同封の手紙には「1週間以内に商品を返送しなければ購入したものと見なす」とあったがXさんは放置した。この場合のXさんの負う義務として適切なものを、次のア～ウから1つ選んで、その符号を書きなさい。

ア 代金支払い義務を負うため、商品の代金を全額支払わなければならない。

イ 代金支払い義務までは負わないが、商品は返送しなければならない。

ウ 代金支払い義務も商品を返送する義務も生じない。
 - 特に問題の起きやすい取引の種類を対象としたルールを定めた法律の名称を書きなさい。
 - 次の文中の (G)、(H) に入る適切な語句を、それぞれ書きなさい。

テレビショッピングで靴を注文した。大きめのサイズを注文したが履いてみると窮屈だった。返品したいとメールしたところ返品できないと利用規約に書いてあると言われた。テレビショッピングは、(G) 販売の一つであり、(H) 制度はないため、返品については事業者が決めた返品特約に従うことになる。

- 消費者トラブルを学習内容として取り扱う際、地域の消費生活センターや消費者ホットライン188番に相談するよう指導する目的を、消費者の権利と責任に基づき2つ書きなさい。

令7 中学校・高等学校家庭解答用紙 (6枚のうち6)

総計		

家庭

I	1	(1)	料理	(2)	(3)	BMI =	
	2	①		②	③	④	
	3	(1)					
		(2)					
	4	(1)	①		②	(4)	図A
4	(1)		(2)	料理			

I		

II	1	(1)	①		②		③
		(2)					
	2						
3	(1)		(2)		(3)		

II		

III	1	(1)	所管		資格要件					
		(2)	→ → →							
		(3)		(4)		2				
	3	疾病	に寝かせる							
	4									
5	(1)	①		②		③		④		⑤
	(2)				(3)					

III		

IV	1	①		②		③			
	2	A		B		C			
	3	(1)				(2)			
	4	(1)		(2)		(3)		(4)	

IV		

V	1	①		②		③		④		⑤		⑥
	2	①			②			③			④	

V		

VI	1	A		基	B		基	C		基	2	作用
	3	ア			イ			ウ			エ	オ

VI		

VII	1	A		B			2			
	3	C		D		E		F		
	4	(1)				(2)				
	(3)	G					H			
	(4)									

VII		

令7 中学校・高等学校家庭模範解答 (6枚のうち6)

総計	200

I	1	(1)	郷土 料理	(2)	イ	(3)	BMI = 体重(kg) ÷ (身長(m)) ²			
	2	①	ポリフェノール	②	ペクチン	③	ゲル (ゼリー)	④	たんぱく質	
	3	(1)	アミノ・カルボニル (メイラード) 反応							
		(2)	煮くずれを防ぐ			材料に煮汁がいきわたるようにする 調味料のしみこみをよくする				
	4	(3)	①	マイクロ波	②	水	(4)	☒A	拍子木切り	☒B
4	(1)	エ		(2)	懐石 料理					

I	32

II	1	(1)	①	認知機能		②	中核		③	オレンジリング	
		(2)	見	当	識	障	害				
	2	エ					カ				
3	(1)	白内障		(2)	高音域の聞こえが悪くなる			(3)	ロコモティブシンドローム		

II	25

III	1	(1)	所管	厚生労働省			資格要件	保育士			
		(2)	ア → イ → エ → ウ								
		(3)	アニミズム		(4)	ペープサート		2	アタッチメント		
	3	疾病	乳幼児突然死症候群 (SIDS)				あおむけ に寝かせる				
	4	よい環境のなかで育てられる									
5	(1)	①	肺	②	低い	③	赤血球	④	ビリルビン	⑤	不感蒸泄
	(2)	生理的黄疸 (新生児黄疸)			(3)	オ					

III	38

IV	1	①	職業		②	家事		③	QOL		
	2	A	イ	B	ウ	C	カ	※ A、Bは順不同			
	3	(1)	民法		(2)	エ					
	4	(1)	ライフステージ	(2)	国勢調査		(3)	○	(4)	協議	(5)

IV	28

V	1	①	イ	②	オ	③	ア	④	ウ	⑤	キ	⑥	エ
	2	①	合掌		②	台風		③	高床		④	ゲル	

V	24

VI	1	A	親油(疎水) 基	B	親水 基	C	親油(疎水) 基	2	再汚染防止 作用		
	3	A	次亜塩素酸ナトリウム	イ	弱アルカリ	ウ	毛(絹)	エ	絹(毛)	オ	酸

VI	23

VII	1	A	意思決定		B	主体的に学習に取り組む態度			2	知識・技能		
	3	C	生活		D	問題		E	課題		F	改善
	4	(1)	ウ		(2)	特定商取引に関する法律 (特定商取引法)						
	(3)	G	通信				H	クーリング・オフ				
	(4)	トラブルの解決方法を知る				広く社会に知られ、未然防止につながる						

VII	30